



令和8年度予算と主要事業の概要

(概要版)

和歌山市



この資料は表紙を頁番号に含んでいます。

令和8年度当初予算のポイント

地方創生に向けたこれまでの取組を着実に前へと進めながら、子育てをはじめとする福祉や生活関連の予算を重点化し、住みたいと選ばれるまちへ

物価高騰対策の
迅速な執行

子育てや暮らしに
紐づく環境の向上

ふるさとで
学び働けるまち

誰もが安心して
暮らせる優しいまち

県都として
活力にあふれたまち

子供たちが
いきいきと育つまち

暮らしに寄り添いながら未来への歩みを進める予算

子育て世帯に寄り添う物価高騰対策

物価高騰の影響を特に受けやすい子育て世帯に対して、国の子育て応援手当を拡充した和歌山市版子育て応援手当及び園児等への給食費支援など、和歌山市独自の物価高騰対策を実施することで、子供たちの暮らしを守るとともに、子育て世帯に確かな安心を届けていきます。

子育て家計への重点支援

● 和歌山市版子育て応援手当 2月補正

(新規) 618,428千円 $\left\{ \begin{array}{l} 95,845千円 \text{【内示資料No.1】} \\ 522,583千円 \text{【内示資料No.2】} \end{array} \right.$

地域保健課
こども家庭課

本市独自の物価高騰対策として、妊婦・子育て世帯に対し、和歌山市版子育て応援手当を支給



国の子育て応援手当を拡充し
妊婦・子育て世帯を力強く支援

妊婦の方

- ・ 出産予定日が令和8年4月以降となる
妊娠届を提出された方
- ・ 令和8年4月1日から12月28日までに
妊娠届を提出される方



3万円



子育て世帯

国の子育て応援手当に上乗せ、合計3万円支給

- ・ 令和7年9月分（9月出生児童を含む）の児童手当受給者



1万円 上乗せ

- ・ 令和7年10月1日から令和8年3月31日までに
出生した児童の児童手当受給者

※和歌山市から支給される物価高対応子育て応援手当を受給される方

● 園児等への給食費支援 2月補正

(新規) 293,097千円 【内示資料No.3】 保育こども園課／教育政策課

物価高騰が続き、給食費の値上がりも見込まれる中、各家庭の給食費による負担を軽減するため、保育所・幼稚園等に通う子供の保護者に対し、給食費相当の一部を支給

※在宅で育児する家庭にも同額を支給

対象者

令和8年4月1日現在、和歌山市に住民登録がある
3歳から5歳まで（R2.4.2～R5.4.1生）の子供の保護者

子供1人あたり年額 36,000円



子育て世帯に寄り添い、

子供たちの暮らしを守る

ふるさとで学び
働けるまち

産業を支える人と企業を育てる

若者たちが生まれ育ったまちで働ける環境を整え、産業を支える人材を育成するため、更なる大学等の誘致を推進するとともに、市内就職のマッチングや働く女性の活躍推進を通じ、全ての人が希望する仕事に就き、いきいきと働くことができるような環境づくりを進めます。また、起業家等を支援するスタートアップ・エコシステムの構築や、国内外への販路拡大に係る支援の取組を通じ、市内企業の育成及び競争力強化を図ります。

ふるさとで学び働ける環境づくり

シティプロモーション課

●専門性の高い大学・専門学校等の誘致（継続）

●奨学金返還支援の拡充（拡充）646千円 【内示資料No.4】 総務課

奨学金を借り受けている学生等が卒業後に、市内にある企業に就職し3年間定着した場合、奨学金の返還を支援

より使いやすい制度で市内就職を後押し

様々な業種・奨学金で活用できるよう利用条件を拡充

対象業種 医療、福祉・介護系企業 ▶ 医療、福祉・介護系企業
+
中小企業

対象奨学金 日本学生支援機構 ▶ 日本学生支援機構
+
大学等の奨学金

●「FAVTOWN」を活用した 市内就職マッチング（継続） 産業政策課

●働く女性の活躍推進（継続）2,192千円 産業政策課

ビジネスチャンスの創出・販路拡大

●スタートアップ・ エコシステムの構築（継続） 産業政策課

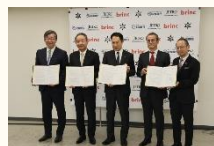
事業者や金融機関と連携しながら、起業家の育成やスタートアップの創出及び成長促進に取り組み、国内外での事業展開を支援

起業家・スタートアップを支援



起業家支援及び地域産業の振興に関する連携協定

◆(一社)和歌山
イノベーションベース



スタートアップ・
エコシステムの
構築に向けた連携協定

◆(株)紀陽銀行
◆(独)日本貿易振興機構
◆ Brinc Ltd

●女性、若者、シニア新規開業資金等利子補給金 （継続）3,938千円 商工振興課

●ビジネスチャンスの創出支援（継続）7,800千円 商工振興課

●展示会等開催支援事業補助金（継続）2,000千円 商工振興課

●姉妹都市等での市産品販路拡大 支援（継続）1,484千円 国際交流課



日本の観光・物産博2025

市内産業の活性化

市内産業の活性化に向け、企業における生産性向上の取組や、本市で働く方々の所得の向上につながる取組を後押しします。
また、国においても150兆円規模の官民投資を促すとされているGX関連分野等の産業を呼び込むため、好機を逃さぬ企業誘致を進めます。

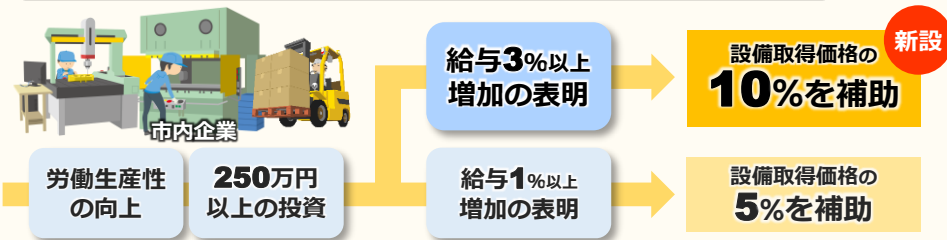
市内企業の生産性向上

● 所得向上補助金（継続） 20,000千円 産業政策課

市内企業の生産性向上や従業員の所得向上を促進するため、給与増加を伴う設備投資を行う企業に対し設備取得価格の一部を補助

更なる支援の新設により市民の所得向上を促進

従業員給与をより大きく増加させる企業に対し補助率を上乗せ



● 企業立地促進奨励金制度（継続） 132,032千円 産業政策課

● デジタルツールの導入支援（継続） 3,023千円 商工振興課

IT・IoTツール、AI又はロボットの導入による中小企業の生産性向上を支援するため、展示会の開催及び導入の補助を行う

大規模用地を活用した企業誘致

産業政策課

● リーディング産業の誘致（継続）

GX産業等の誘致について調査等を実施

● 西防波堤沖埋立地への企業誘致促進（継続）

関西電力所有地の企業誘致エリアにおいて、当該用地の整備及び事業者による企業誘致活動を促進



更なる発展の基盤となる道路網

更なる広域的な連携強化を図るため、和歌山北ICのフルIC化へ向けに取り組むとともに、高速道路アクセスの充実や大規模災害時における命の道としての広域道路ネットワークの確保を目指し、和歌山環状北道路の早期事業化を国へ要望します。また、市の基幹道路である都市計画道路の整備を進め、道路ネットワークの構築を図ります。

●和歌山北ICのフルIC化に係る

取組（継続）1,000千円

道路政策課

更なる物流の活性化及び企業誘致の促進を図るとともに、防災機能の強化及び大型車の交通転換による交通事故削減を図るため、フルIC化に向けた検討及び関係機関との協議を進める

●和歌山環状北道路の早期事業化の実現に向けた働きかけ（継続）

2,085千円

道路政策課

国への要望、国・県・市の勉強会等を通じて、早期事業化を働きかける



●都市計画道路の整備（継続）

386,253千円

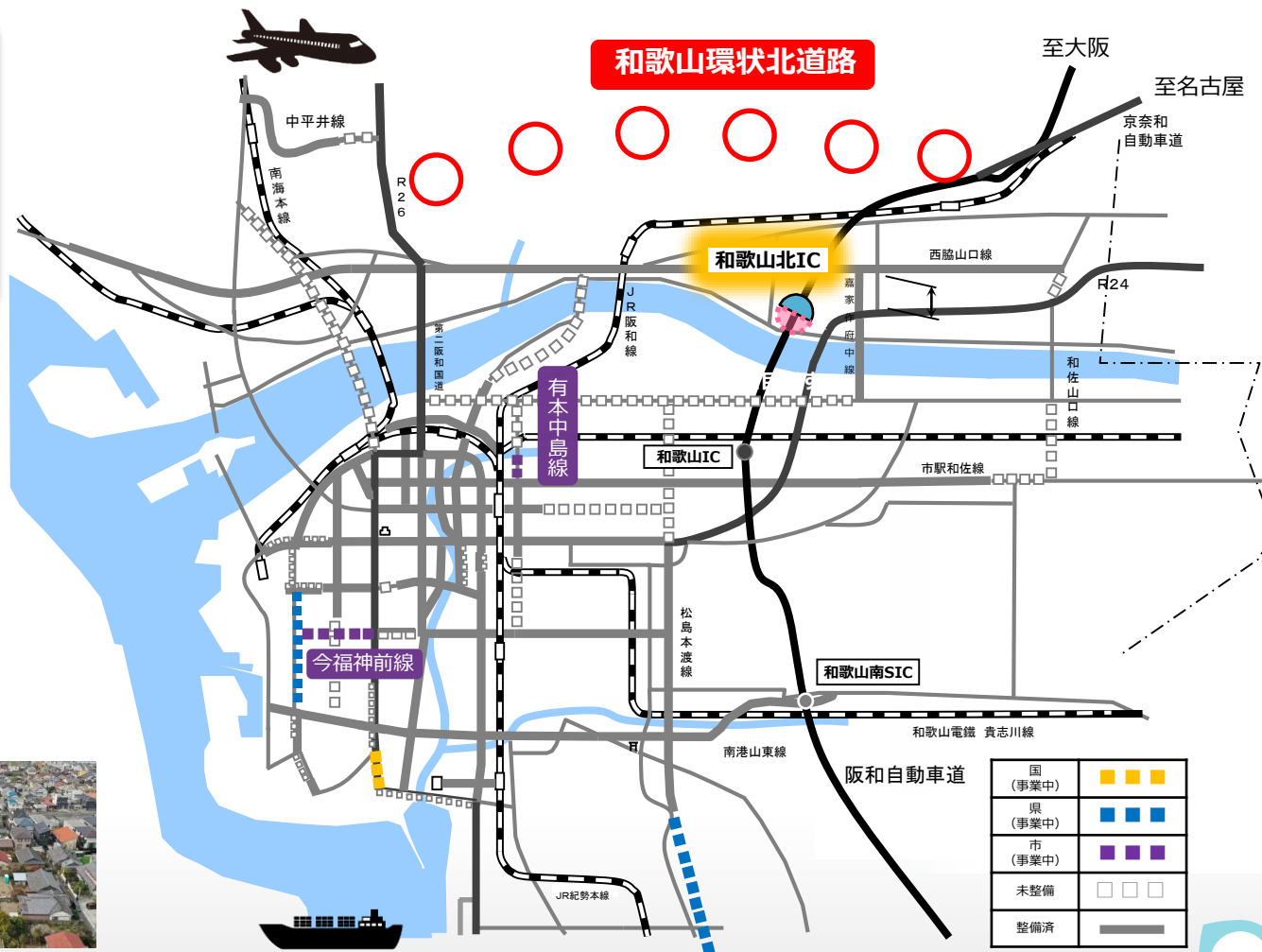
道路建設課

（130,000千円 2月補正、256,253千円）

都市計画道路のうち重点整備区間道路の整備を促進し、道路ネットワークの構築を図る
令和8年度 今福神前線
有本中島線



今福神前線



強い農水産業づくり

農水産物の生産と流通を強化し稼ぐ力を高める、強い農水産業づくりを進めます。農水産物の生産力の向上を後押しするとともに、新たな付加価値の創出につながる6次産業化を促進します。また、中央卸売市場の活性化により農水産物の流通拡大と競争力向上を目指します。併せて、環境にやさしく持続可能な農水産業の取組や、本市の農水産業の担い手の育成・確保に向けた取組を推進します。

農水産物の生産・販売・流通強化

● 農水産業みらい創生事業補助金

(継続) 1,500千円 農林水産課

市内農水産物等を活用した6次産業化を支援

● 野菜花き産地強化事業補助金

(継続) 4,946千円 農林水産課

● 藻場造成の推進 (新規) 4,800千円 【内示資料No.5】 農林水産課

藻場の造成や魚類による食害への対策を実施し、沿岸漁業の再生を目指す

● 魚礁の造成による沿岸漁業の整備

(継続) 39,727千円 農林水産課

● 中央卸売市場の活性化 中央卸売市場

・ 活性化ビジョンの推進 (新規)

令和8年3月策定予定の中央卸売市場活性化ビジョンに基づき、市場の競争力を高め、持続的な経営を目指すための取組を推進。また、再整備で生まれた余剰地を活用した道の駅等の賑わい創出について検討

・ 中央卸売市場の再整備 (継続)



R7 新青果棟が完成

環境にやさしい・持続可能な農水産業の推進

● 有機農業・環境保全型農業の推進

(拡充) 1,428千円 【内示資料No.6】 農林水産課

● オーガニック給食の推進 給食管理課 / 農林水産課

・ 小学校オーガニック給食 (拡充) 5,298千円
オーガニック給食の回数を増加 【内示資料No.7】

・ 中学校オーガニック給食 (新規)
全校で有機米等を使用した給食を実施



オーガニック給食の普及と有機農業拡大を併せて推進

● つくり育て管理する漁業の推進

(継続) 4,592千円 農林水産課

農水産業の担い手育成・確保

農林水産課

● 次世代を担う新規就農者の育成支援

(継続) 21,500千円

● 遊休農地の解消促進 (拡充) 900千円 【内示資料No.8】

● 漁業の担い手育成支援 (継続) 4,437千円

観光資源の魅力化・消費の促進

県外からも誘客が見込めるイベントや、道の駅四季の郷公園など、既存の観光資源の更なる魅力化を図ります。また、光によってまちを彩る取組の更なる魅力化・定着や、民間と連携したナイトタイムエコノミーの推進により、夜間・冬季の経済活動の振興やコンテンツの造成を通じ、観光消費の拡大を図ります。

● 観光資源の更なる活用・魅力化

● 四季の郷公園の活用推進（継続）48,613千円 農林水産課

イベントの拡充を図る等、観光拠点としての更なる充実を図るとともに、ネット遊具の張替や散策路の改修準備などを実施し、魅力と安全性を高める

指定管理者自主事業
道の駅全国初のアイススケート場
AOZORA ICE PARK
オープンから14日間で**4,348**人が来場



● 紀州おどり「ぶんだら節」の活用 （継続）9,900千円 観光課

● 港まつりの安全対策の充実（拡充）29,951千円 【内示資料No.9】 商工振興課

企業の協力を得ながら より魅力的な花火大会へ

安全で快適な会場づくり
のための予算を拡充



● 光の彩りを軸とした夜間観光の推進

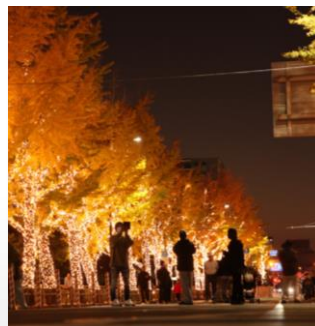
● まちなかイルミネーションの活用推進

- ・ JR和歌山駅周辺イルミネーション（継続）4,127千円 商工振興課
- ・ 市堀川水辺のライトアップ（継続）1,046千円 まちなみ景観課
- ・ けやき大通りイルミネーションとの連携（継続） 観光課 / 商工振興課

● 四季を通じたライトアップ 和歌山城～光の回廊～（継続） 和歌山城整備企画課

● ナイトタイムエコノミーの推進

- ・ 商店街の魅力向上（継続）4,000千円 商工振興課



地域の魅力を生かした新価値創出

日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」における付加価値向上、地域のブランド化の取組を進め、集客力の高いコンテンツの創出・集積を目指すとともに、国内外への魅力発信に取り組みます。また、豊臣秀長が主人公として描かれるNHKの大河ドラマ『豊臣兄弟！』の放映を契機として、本市の持つ、和歌山城築城期や豊臣家に関連する歴史的魅力を生かした観光プロモーションを展開します。

「絶景の宝庫 和歌の浦」の新価値創出

● 雑賀崎・田野のブランド化（継続）シティプロモーション課

地域固有の魅力や未利用・低利用の資源などを活用する民間投資を呼び込み、集客力の高いコンテンツの創出・集積を目指す

エリアビジョンに基づき具体化施策や規制の見直しを検討

事業者とのマッチングや住民によるまちづくりに向けた環境の構築へ

● 和歌の聖地・ベイ オブ ポエムズ （継続）2,000千円 文化振興課

和歌を通じて、国内外に和歌の聖地・和歌の浦の魅力を発信



● 歴史的風致維持向上計画（第2期） の策定（新規）3,388千円 【内示資料No.22】 都市再生課

歴史を生かしたプロモーション

● 豊臣家に関連する他城郭との連携（新規）749千円 【内示資料No.10】 和歌山城整備企画課

● 豊臣家と和歌山城の関連企画展示（新規）1,205千円 【内示資料No.11】 和歌山城整備企画課

わかやま歴史館では秀長に係る企画展を、天守閣では「築城の名人」こと藤堂高虎に係るパネル展示をそれぞれ実施

● 豊臣秀吉・秀長兄弟ゆかりの地スタンプラリー キャンペーン（新規）4,751千円 【内示資料No.12】 観光課

● 太田城水攻め堤跡の整備・活用 （継続）809千円 文化振興課

周辺里道の整備等を行うとともに太田城ゆかりの史跡ウォークを実施



太田城水責図（惣光寺所蔵）



太田城水攻め堤跡



● 豊臣秀吉・秀長に関する企画展の開催 （新規）1,770千円 【内示資料No.13】 文化振興課

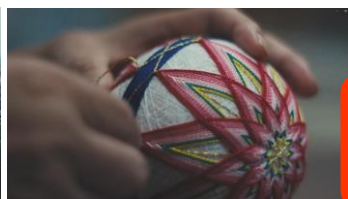
移住・プロモーションの推進

移住・定住の促進及び関係人口の創出に向け、本市の魅力を内外に発信する積極的なシティプロモーションを展開します。
また、学生と地域の結びつきを深め、学生とともにつくりあげるまちづくりを推進し、地域への愛着醸成に取り組みます。

見て・来て・感じるプロモーション

●シティプロモーションの推進（拡充）15,690千円

都市部への優れたアクセス性や、自然豊かな環境での暮らしといった本市の魅力を、ホームページ・動画・SNSを通じて積極的に発信



第1弾
YouTubeで
公開中

R7制作PR動画テーマ「The Hidden Gem of Kansai, Japan -関西の隠れた宝石-」

●移住フェア等への出展（継続）1,300千円

移住者支援・受入環境の向上

●わかやま暮らし応援金（継続）3,600千円

●地域おこし協力隊を活用した移住支援

（継続）9,704千円

●地域おこし協力隊の起業支援

（新規）1,000千円

農林水産課 / 産業政策課

大学等を通じた地域活性化

シティプロモーション課

●専門性の高い大学・専門学校等の誘致（再掲）



整備イメージ

（仮称）ゴードンストウン・スクール日本校
（英国インターナショナルスクール姉妹校）
令和9年9月開校予定

●教育機関支援等基金を活用した支援（新規）

ふるさと納税による寄附金を活用し、本市と協定を締結して地域交流等を通じ地域活性化に取り組む教育機関等を支援

R7.11～ 教育機関支援等寄附金について募集中

学生の社会活動・地域への参加が活発化



西コミ防災フェスタ2025秋
（東京医療保健大学）




こどもフェスタIN本町2025
（和歌山信愛大学）



R7.7.6 オープン
中之島つどい館
宝塚医療大学と
地域が連携し住民主体の
まちづくりを推進



市民公開講座
（和歌山リハビリテーション専門職大学）



県都として 活力にあふれたまち

和歌山のゲートウェイ

県内外から人を呼び込む和歌山の玄関口として、和歌山県及び西日本旅客鉄道株式会社との連携のもと、交通結節点としての機能強化を図るだけでなく、東口・西口の再整備や、友田町三丁目地区再開発及び周辺の商店街も含めた面的な活性化を推進します。

●和歌山駅まち空間の活性化（継続）都市再生課

令和7年度に公表した「和歌山駅まち空間活性化基本構想」をもとに、市民をはじめ、鉄道利用者、交通事業者、周辺の商業事業者、デベロッパー等の関係者との合意形成や機運醸成を行い、駅まち空間の活性化に向けた取組を進める

●和歌山駅前友田町三丁目地区再開発の推進（継続）都市再生課

和歌山駅前友田町三丁目地区第一種市街地再開発事業について、都市計画決定を目指し、令和7年度に作成した基本計画、推進計画をもとに検討を進める準備組合を引き続き支援



画像 ©2026 Google、画像©Airbus、Maxar Technologies、地図データ ©2026

出典：Google マップを元に作成

市駅周辺をまちの居場所に

市民図書館・キーノ和歌山や有吉佐和子記念館、博物館等の拠点を活用しながら、和歌山市駅前南地区再開発や旧市民会館跡の民間資本による活用、市道と和歌山市駅前線の道路空間整備、市堀川かわまちづくり、紀の川緑地のリニューアルなどを一体的に推進し、エリア全体が「まちの居場所」となるよう魅力化を図ります。

●和歌山市駅前南地区再開発の推進

(拡充) 161,164千円【内示資料No.16】都市再生課

和歌山市駅前南地区第一種市街地再開発事業について、組合設立を目指し、基本設計、資金計画作成等に対して補助金を交付し、準備組合を支援



出典：Google マップを元に作成

画像 ©2026 Google、画像©Airbus、Maxar Technologies、地図データ ©2026

●市道【和歌山市駅前線】

道路空間の整備（新規）都市再生課

市、地元関係者、都市再生推進法人等で構成した協議会で道路空間の検討を進める



ウォークアブル
空間の創出

●旧市民会館跡活用（継続）都市再生課

●紀の川緑地の整備（継続）公園緑地課

●有吉佐和子記念館の運営（継続）9,976千円 文化振興課

有吉佐和子記念館の適正な維持管理を行うとともに、氏の業績の顕彰や文化的風土を醸成

和歌山城の更なる魅力向上

豊臣家によって築城され、のちに御三家・紀州徳川家の居城となった歴史ある史跡、和歌山城の更なる魅力向上を目指します。史跡としての歴史的魅力をさらに向上させる取組を推進するとともに、景観等や観光客受入環境の向上などの取組を通じ、市民にも観光客にも、更に愛される和歌山城を目指します。

史跡和歌山城の歴史的魅力向上

和歌山城整備企画課

● 史跡和歌山城に関する保存活用計画の策定

(新規) 4,523千円 【内示資料No.17】

保存管理計画の策定からすでに30年以上が経過している中、現在の社会情勢に対応した新たな保存活用計画を策定

● 扇の芝の整備（継続）126,310千円

扇の芝の段階的整備工事、石垣保護工事（南面）、石垣保護設計（北面）を実施

江戸後期のかつての姿の再現へ

市民参加型の芝張りを実施予定



約120年ぶりに
屏風折れの
高石垣が姿を現す

● 北辺櫓群の整備検討（継続）

さらに愛される和歌山城へ

和歌山城整備企画課

● 和歌山城公園動物園クマ園舎の改修

(拡充) 55,044千円 2月補正 【内示資料No.18】



クラウドファンディング等の
寄附金を活用し、クマ園舎を
美しく安全にリニューアル

● 和歌山城公園の樹木管理（継続）5,082千円



歩きたくなるまちなかの整備

道路空間の整備や水辺を生かしたかわまちづくりを進め、歩きたくなるまちなか“ウォーカブルシティ”を目指します。
また、民間による公共空間の活用を更に促していくことで、良質な都市空間の形成を図るとともにまちなかの周遊性・回遊性を高めます。

歩きたくなる道路空間の整備

都市再生課

市道【和歌山市駅前線】道路空間の整備（再掲）

市道【北ぶらくり丁線】の整備（継続）

商店街活性化を目指し主体的に活動を続け、アーケードを撤去することを決めた北ぶらくり丁商店街において、ワークショップや社会実験から出た商店街等の意見も取り入れた道路詳細設計を実施

市堀川かわまちづくり

河川空間利用の推進（継続）

河川港湾課

河川管理者である県により、市堀川の一部区間が民間事業者による営利活動が可能となる都市・地域再生等利用区域に指定。今後、市が窓口となり、イベントやオープンカフェなど河川空間の利用を進める

まちなみ景観課

市堀川水辺のライトアップ（再掲）1,046千円

京橋親水公園の活用（継続）

公園緑地課

公園の多目的広場を、まちなかでの賑わい創出に寄与することを目的として、物販やイベントなど民間事業者による利活用を促進



帝国座テラス

R7.11
オープン

北ぶらくり丁線整備

地域で結ぶ豊かな暮らし

新たな交流拠点として第6ブロックでのコミュニティセンター整備に取り組みます。
また、多極型コンパクトシティの要である交通ネットワーク機能の向上に向け、交通結節点である鉄道主要駅の整備を進めるとともに、都市計画マスタープランの改定により、地域のまちづくり方針等を見直します。

新たな交流拠点の創出

●第6ブロックコミュニティセンターの整備

(継続) 21,700千円 **2月補正** 生涯学習課 / 子育て支援課 / 人権同和施策課

鳴神児童館、文化会館及び地区集会所を集約し、防災拠点としても活用可能な複合機能を有するコミュニティセンターとして整備するため、実施設計を行う



整備イメージ

あらゆる世代の
学びと交流を促進

地域の拠点となる主要駅の整備

●紀伊駅前広場の整備（継続）11,200千円 **道路建設課**

利用者が安全・安心に利用できるよう、バスベイやタクシー、一般車に対する乗降所を有した駅前広場を整備



整備イメージ

利用者が多い駅の
交通結節点としての機能を強化

●宮前駅前広場の整備検討（継続） **交通政策課 / 道路政策課**

JR宮前駅や駅前広場整備の検討を鉄道事業者等の関係者と進める

地域のまちづくり方針の改定

都市計画課

●都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定（新規）18,591千円 **2月補正** 【内示資料No.19】

社会情勢等の変化や施策の進捗状況を踏まえ、各種調査・分析を行い、都市機能や居住の適切な誘導に加え、土地利用の防災上の観点から減災対策を示す「防災指針」の追加等を行う

地域公共交通の維持・充実

地域公共交通の維持・充実のため、完全上下分離への移行を目指す和歌山電鐵貴志川線について、和歌山市、和歌山県、紀の川市の3者での支援を継続するとともに、バス路線の維持や地域バスの運行等に対する支援を行うことで市民の足を守り、生活を支えます。

●和歌山電鐵貴志川線の鉄道存続に向けた支援

(拡充) 138,466千円 【内示資料No.20】 交通政策課

令和10年4月からの「完全上下分離」への移行を目指す和歌山電鐵貴志川線について、安全な運行継続を図るため、設備の更新及び修繕に係る費用に対し、和歌山市、和歌山県、紀の川市の3者で支援



上：鉄道会社 列車の運行

分離

下：自治体等 インフラの保有・管理

●バス路線維持への支援 (継続) 25,092千円 交通政策課

地域住民の生活交通手段等として重要なバス路線の維持を図るため、和歌山バスの赤字4路線 (坂田線、六十谷線、鳴神線、雑賀崎循環線) に対し、一定額を補助

●地域バスへの支援 (継続) 37,906千円 交通政策課

バス路線が廃止となった地域などの公共交通不便地域において、鉄道や路線バスと地域をつなぐ地域バスの運行等を支援し、持続可能な公共交通ネットワークの形成を図るとともに、岡崎地区での実証運行を検討

●デマンド型乗合タクシーへの支援

(継続) 1,817千円 交通政策課

利用者から予約があった時のみ運行するデマンド型乗合タクシーについて、加太地区での運行を継続して支援



文化・スポーツの振興

本市の文化の殿堂である和歌山城ホールを中心として文化芸術の振興を図るとともに、有吉佐和子文学賞や将棋大会の開催などを通じ、文化的風土の醸成を図ります。また、本市の持つ文化財等の保存活用 of 取組を進めます。加えて、和歌山ジャズマラソン等への参加を通じ、健やかで明るい市民生活の形成を目指すとともに、スポーツ環境の向上・充実に向けた施設整備に取り組みます。

文化芸術の振興・文化的風土の醸成

文化振興課

- 和歌山城ホールの運営（継続） 152,512千円
- 有吉佐和子記念館の運営（再掲） 9,976千円
- 有吉佐和子文学賞（継続） 1,889千円
- 将棋文化の普及（継続） 1,117千円

文化財の保存活用

文化振興課

- 国指定史跡鳴神貝塚の公有化（継続） 40,973千円

【内示資料No.21】

文化振興課

- 友ヶ島の文化財指定に向けた取組の強化（拡充） 7,076千円

友ヶ島砲台の文化財としての価値を調査報告書にまとめ、さらにその範囲確定のために測量を行う



- 登録有形文化財の保存促進（継続） 400千円

文化振興課

スポーツへの参加促進

- 和歌山ジャズマラソンの開催（継続） 23,449千円

スポーツ振興課

- 全国高等学校総合体育大会開催補助金（新規） 47,102千円

【内示資料No.23】 学校支援課

全国高等学校総合体育大会のバドミントン競技、相撲競技、柔道競技を本市で開催し、同時に本市の魅力を市内外に発信

スポーツ環境の向上・充実

- （仮称）梅原広場の活用検討（継続）

スポーツ振興課

- 松下体育館の長寿命化対策（新規） 9,867千円

【内示資料No.24】 スポーツ振興課

築55年を迎えている松下体育館の長寿命化対策に向けた設計を実施



子供たちが いきいきと育つまち

子育て世帯への経済的支援の充実

18歳までのこども医療費の完全無償化と小学校給食費の無償化を引き続き実施するほか、新たに中学校給食費の無償化を実施し、子育て世帯への経済的支援の充実を図ります。また、産前産後期間における保険料の減額や、出産育児一時金、一時預かり利用者の負担軽減など、妊娠・出産期から子育て・就学期まで切れ目なく経済的支援を行い、出産や子育てにかかる不安の軽減を図ります。

●物価高騰に対する支援

・和歌山市版子育て応援手当 2月補正

(再掲) 618,428千円 { 95,845千円 [内示資料No.1] 地域保健課
522,583千円 [内示資料No.2] こども家庭課 }

・園児等への給食費支援 2月補正

(再掲) 293,097千円 [内示資料No.3]

保育こども園課
教育政策課

妊婦・子育て世帯を力強く支援

●給食費の無償化

給食管理課

・小学校給食費の無償化 (継続) 964,546千円

市立小学校及び義務教育学校 (前期課程) の給食費を無償化

・中学校給食費の無償化 (新規) 518,566千円 [内示資料No.26]

全員給食の開始とともに、子育て世帯への経済的支援のために
市立中学校及び義務教育学校 (後期課程) の給食費を無償化

令和8年4月から全員給食開始

●高校生までのこども医療費無償化

(継続) 1,613,189千円 こども家庭課

18歳 (年度末年齢) まで医療費を助成し、
安心して子供を産み育てられる子育て環境の充実を図る



●妊娠・出産期に寄り添う支援

・産前産後期間の保険料減額 (継続) 3,547千円 国保年金課

出産する被保険者の国民健康保険料 (所得割保険料及び被保険者均等割保険料) について、産前産後期間相当分 (4か月間 (多胎妊娠の場合は6か月間)) を減額

・出産育児一時金 (継続) 99,952千円 国保年金課

国民健康保険の被保険者が出産された際、
一児につき48.8万円 (産科医療補償加入登録有りの場合50万円) を支給

・妊婦支援給付金 (継続) 210,509千円 地域保健課

全ての妊婦が安心して出産・子育てができるよう、
妊娠届出後と出産届出後に給付金を支給

●子育て・就学期を支える支援

・一時預かり利用者の負担軽減 (継続) 2,395千円 保育こども園課

所得の低い世帯や支援が必要な児童がいる世帯等の
一時預かりに関する利用料を軽減 (上限額 日額1,500円~3,000円)

・就学援助の充実 (継続) 178,936千円 学校支援課

経済的な支援を必要とする家庭に、
学用品や修学旅行などにかかる費用の一部を援助

・児童手当 (継続) 6,615,120千円 こども家庭課



切れ目のない包括的支援

妊産婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援と、子育て世帯へのライフステージを通じた支援により、誰もが結婚や子育てに明るい将来展望を描くことができる社会を目指します。

妊産婦等へのきめ細かな支援

地域保健課

●妊産婦健康診査等費用の助成（継続）228,646千円

妊産婦健診、1か月児健診及び新生児聴覚検査に係る費用を助成し、妊産婦及び乳児の健康管理の充実、経済的負担の軽減を図る

●産後ケア事業の充実（拡充）17,618千円【内示資料No.27】

産科医療機関等での宿泊や通所（デイサービス型）や、助産師等による訪問（アウトリーチ型）により、心身のケアや育児相談等きめ細かな支援を実施

ニーズの高い産後ケアを更に強化

自己負担額を引き下げ、利用機会を拡大



●こんにちは赤ちゃん事業（継続）13,011千円

訪問員（保健師、助産師、看護師、保育士）が自宅に伺い、子育て情報の提供と、産後の生活や育児等に関する相談支援を実施

●乳幼児健康診査の実施（継続）31,404千円

4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児（歯科）、3歳児に健康診査を実施

●発達相談支援の充実

・乳幼児発達相談事業（継続）1,225千円

・5歳児相談事業（継続）7,108千円

ライフステージを通じた子育て支援

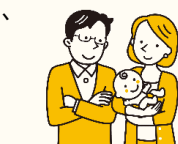
子育て支援課

●新生活をスタートさせる新婚世帯の支援（継続）45,000千円

結婚に伴う新生活にかかる費用の一部を補助し、結婚を後押し

●こども未来ギフトの充実（拡充）14,818千円【内示資料No.28】

本市で誕生した全ての子供たちの健やかな成長を願い、木育、食育、読育、眠育に関するお祝いギフトを贈呈



品目に紙おむつを追加

●三世代同居・近居補助金（継続）3,300千円

転入し三世代で新たに同居又は近居するための住宅を取得する場合や同居するための住宅をリフォームする場合に、費用の一部を助成

●親子の交流の場の提供（継続）80,438千円

未就園児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う

●子育てプランナーによる支援（継続）8,895千円

子育て家庭の個別のニーズを把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用にあたっての情報提供、相談、利用支援を行うとともに関係機関との連絡調整等を実施

仕事と子育ての両立支援の強化

潜在保育士への復職支援による人材確保を通じ、待機児童の解消を目指すとともに、こども誰でも通園制度の本格実施により様々な働き方やライフスタイルに寄り添う支援を行うことで、仕事と子育ての両立を支援します。

● 保育環境の充実

保育こども園課

● 保育体制の強化（継続）

42,240千円

私立保育所及び認定こども園に対して、保育士の業務負担軽減及び児童の安全確保を目的として、清掃業務等保育に係る周辺業務を行う者を雇入れた費用の一部を補助

● 障害児受入れ促進（継続）

53,802千円

● 保育士確保による体制強化

保育こども園課

● 保育士等就労支援補助（継続） 2,600千円

潜在保育士への復職時の一時金支給（市外から移住する場合加算あり）を行い、保育士確保を図る

市外からの移住者 ▶ 30万円

市内居住者 ▶ 20万円



● 保育士確保対策事業（継続）

127千円

保育教諭及び保育士確保のため、資格取得に要した経費の一部を補助

● 保護者に寄り添い、子供の成長を支援

保育こども園課

● こども誰でも通園制度の本格実施

（拡充） 141,104千円 【内示資料No.29】

就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる、こども誰でも通園制度を実施することで、子育て家庭に対して、様々な働き方やライフスタイルに寄り添う支援を強化し、乳幼児の福祉の向上を図る

利用を希望する声に応え、
子育て世帯への支援を強化

公立保育所2園に加え、私立保育施設でも実施



● 安心して働ける、放課後の見守り

青少年課

● 若竹学級待機児童ゼロへの取組（継続） 654,141千円

放課後等に保育を必要とする児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供
特別教室等の「タイムシェア」で継続的な待機児童ゼロを目指す



妊産婦・子育て世帯・子供への相談支援

こども家庭センターにおいて、全ての妊産婦、子育て世帯、子供に対して、児童福祉と母子保健の両面から継続的かつ一体的な相談支援を実施し、様々な不安や悩みに寄り添う体制を構築します。

児童福祉と母子保健の一体的支援

こども家庭センターでの一体的支援

(継続) 240,116千円 こども家庭センター／地域保健課

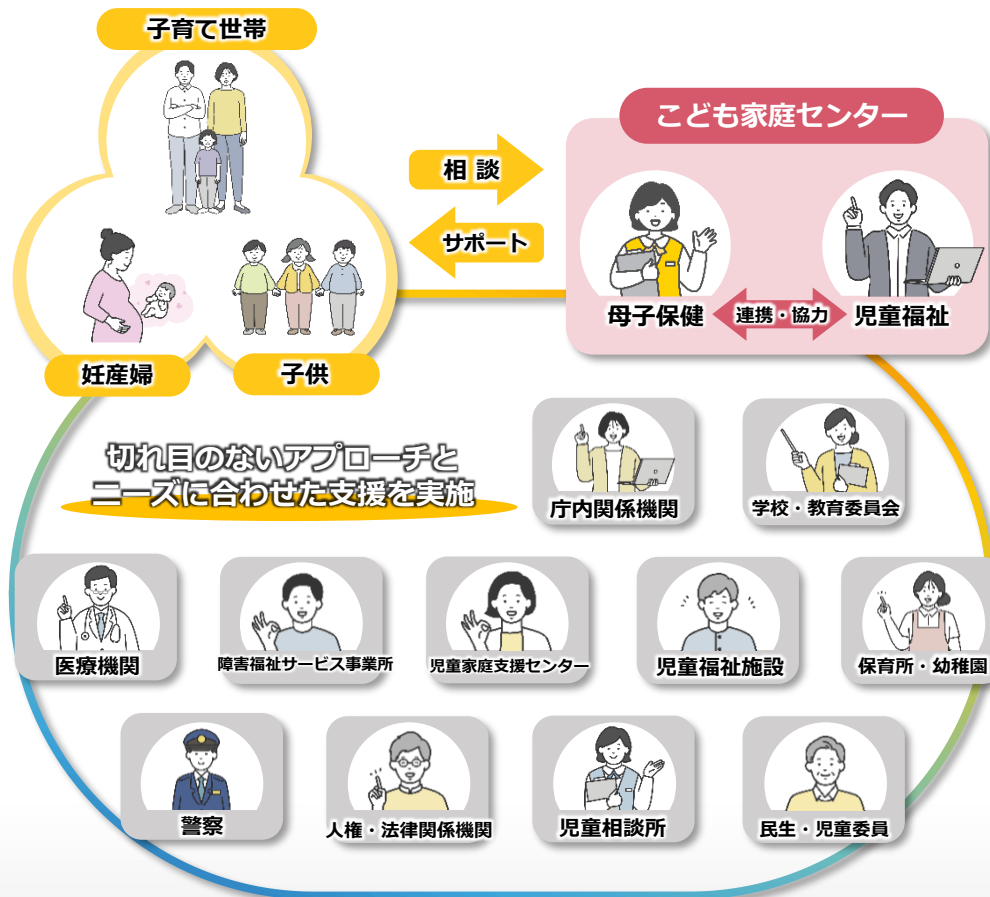
全ての妊産婦・子育て世帯・子供に対し、ワンストップで相談支援を行い、児童福祉と母子保健がそれぞれの専門性に応じた業務を実施しながら連携・協力し、継続的かつ一体的な相談支援を実施

児童福祉機能 (継続) 191,152千円

- 要保護児童対策地域協議会 (相談業務・他機関との連絡調整)
- 母子生活支援施設入所事業
- ヤングケアラー支援事業
- 小児精神科医アドバイザー事業
- 地域等子育て連携事業
- 養育支援訪問事業
- 就学前児童への啓発プログラム
- 助産施設入所事業
- 子育て短期支援事業
- 前向き子育てプログラム推進事業
- 里親事業

母子保健機能 (継続) 48,964千円

- 妊娠届出の受理・母子健康手帳の交付
- 妊産婦、乳幼児等の実情及び要支援者の把握・関係機関との連絡調整
- 妊産婦や乳幼児、育児相談等各種相談に応じ、情報提供・助言・保健指導の実施



多様な学びの場と安心して過ごせる居場所づくり

医療的ケアを必要とする子供たち一人ひとりに対するきめ細かな支援や、市立和歌山あけぼの中学校での学習支援を行うことにより、誰一人取り残されない学びの場を提供します。また、校内教育支援センターへの専任支援員の配置や、適応指導教室（ふれあい教室）での取組などにより、誰もが安心して過ごせる居場所を確保します。

● 誰一人取り残すことのない支援体制

● 特別支援教育支援員等によるサポートの充実

（継続）236,226千円 学校支援課

小・中学校及び義務教育学校に特別支援教育支援員等を配置し、発達障害等を持つ児童・生徒に対し、早い段階からきめ細かい支援を実施

● 医療的ケア児とその家族への支援

（継続）24,433千円 保育こども園課 / 学校支援課 / 障害者支援課

医療的ケアが必要な子供が、市立学校・保育所等において安心して教育・保育が受けられるよう看護師等を派遣し、支援を実施
また、コーディネーターを配置し、多機関にまたがる支援の調整を行う

● ヤングケアラーへの支援（継続）8,958千円 こども家庭センター

コーディネーターの配置により、ヤングケアラーの早期発見、継続的な見守りや相談支援等、孤立させない支援体制を構築

● 外国人児童生徒へのサポート推進

学校支援課（子ども支援センター）

● 日本語支援ボランティアの配置（継続）1,984千円

● 外国人留学生の派遣（継続）84千円 学校支援課

● 誰もが学ぶことができる機会の保障

教育政策課
学校支援課
学校教育課

● 和歌山市立和歌山あけぼの中学校（夜間中学）の管理・運営（継続）

様々な理由により中学校を卒業していない方や本国で義務教育を修了していない外国籍の方などの学びたい気持ちに対応し、生徒の多様性に合わせた教育を行うなど、学びの機会を確保



● 子供の居場所づくり

学校支援課（子ども支援センター）

● 不登校児童・生徒の学校復帰に向けた支援強化（拡充）8,288千円 【内示資料No.30】

校内教育支援センター

不登校児童・生徒に対し、学びの場を確保するとともに、不登校の未然防止を図るため、校内教育支援センターに専任支援員6名を配置

安心できる居場所づくりを推進



必要性の高い中学校（義務教育学校含む）から段階的に専任支援員を配置

● 適応指導教室（ふれあい教室）の取組（継続）27,679千円

様々な理由で学校に行きづらい子供が、安心して過ごすことのできる「心の居場所」として、子ども支援センターにふれあい教室を設置

質の高い教育と学校給食・食育の充実

GIGAスクール構想の推進により、未来社会で活躍するための資質・能力の育成に取り組むとともに、専門的な知識を持った学校司書の増員等を通じた読書環境の充実により、質の高い教育の実現を目指します。また、令和8年4月より中学校の全員給食を開始し、成長期にある生徒に対して、安全・安心で栄養バランスのとれた温かい昼食を提供することで、心身の健全な育成を図ります。

ICTを活用した学習活動

●児童・生徒用タブレット端末の更新

(新規) 1,433,465千円【内示資料No.31】教育研究所

令和2年度に導入したタブレット端末の更新を実施し、一人ひとりの理解度に合わせた学習や友達と意見を交わす活動をよりスムーズに行える環境を整えることにより、子供たちが自ら考え、深く学ぶ力を育む



読書活動の充実

●学校司書配置による学校図書館の利用促進

(拡充) 64,932千円【内示資料No.32】

専門的な知識を持った学校司書を8名から18名に増員し、本を活用した授業サポートや児童・生徒への読書案内等、学校図書館を活用した学習活動の支援等を行う

読書活動を効果的・効率的に推進



R8は学校司書を全中学校区に配置

●市民図書館を拠点とする読書活動の推進

(継続) 403,564千円

読み聞かせの実施や子供に薦めたい本の紹介、小学校への配本図書の充実、各コミュニティセンター図書室とのネットワーク充実など、市民図書館を拠点とした読書活動を推進

学校給食・食育の充実

給食管理課

●中学校全員給食の実施(新規) 426,766千円

【内示資料No.25】

成長期にある全ての生徒に栄養バランスのとれた温かい給食を提供するため、令和8年4月から全員給食を開始し、市立小・中・義務教育学校において全員給食化



安全で安心な学校給食の提供



栄養バランスの優れた魅力的な学校給食



持続可能な学校給食の提供



食育・地産地消の推進



給食センター完成予想図

R8 中学校給食センター完成

小学校に加え、市立中学校
給食費も無償化

●オーガニック給食の推進

給食管理課 / 農林水産課

●小学校オーガニック給食(再掲) 5,298千円

有機食材や有機米を使用した
オーガニック給食を年2回実施

【内示資料No.7】

オーガニック給食の回数を増加

●中学校オーガニック給食(再掲)

全校で有機米等を使用した給食を実施

給食を生きた教材として食育を推進



誰もが安心して
暮らせる優しいまち

あらゆる災害から身を守る

いつ発生するか分からない大地震の発生に備え、引き続き住宅の耐震化を促進し、更なる耐震化率の向上を図ります。
また、激甚化・頻発化する水災害に備え、雨水ポンプ場の整備や河川改修を進めます。

住宅耐震の推進

耐震・空家対策課

●住宅の耐震改修補助事業（継続）

280,808千円（136,440千円 **2月補正**、144,368千円）

STEP1 耐震 診断

木造住宅

無料で耐震診断士を派遣

非木造住宅

耐震診断費を助成（最大8万9千円）

STEP2 耐震化

木造・非木造住宅（1階部分のみの改修も対象）

耐震改修（最大131万6千円）

木造・非木造住宅

現地建替（最大131万6千円）

耐震改修と同時に行う

リフォーム工事費の助成で最大**151.6万円**の助成
（最大20万円）

or

移住者空き家改修等補助金（最大50万円）

耐震改修と併用することで最大**181.6万円**の助成

※各種助成には、一定の条件あり

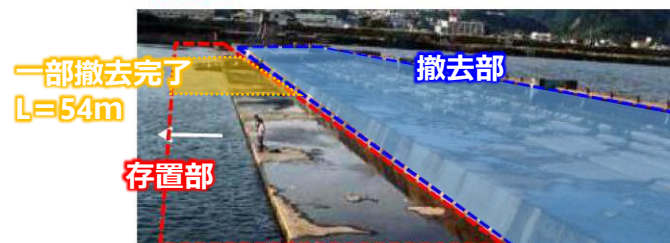
200戸程度を予定

新六箇井堰全撤去への取組

河川港湾課

●新六箇井堰の全撤去に向けた働きかけ（継続）

気候変動下の流量増加や洪水発生頻度の増加に対応した紀の川の治水安全度を確保するため、新六箇井堰の全撤去について国に働きかける



ポンプ場の整備

下水道施設課

●雨水ポンプ場の整備（継続）

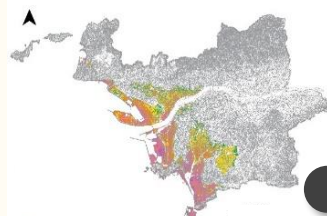
- ・有功雨水ポンプ場ポンプ増設 931,152千円
- ・中島川雨水ポンプ場の整備 382,000千円
- ・松江雨水ポンプ場の整備
- ・亀の川雨水ポンプ場の整備 150,000千円

事前防災の徹底

平時から居住地のリスクを把握し、災害発生時の適切な避難につなげるため、防災マップに新たな津波浸水想定を反映するとともに、高潮と内水のハザード情報を追加することで、あらゆる災害リスクを分かりやすく示します。また、災害に強い高台エリアの活用を拡げるべく、インフラ整備や活用策の検討を進めます。

事前の防災対策

- **新たな防災マップの作成（新規）29,963千円**
【内示資料No.35】 地域安全課
和歌山県が南海トラフ地震の想定を見直し、新たな津波浸水想定区域を公表する予定のため、本市の防災マップを新たな想定に更新



あらゆる災害リスク
を分かりやすく表示

津波浸水想定区域図

- **ため池の維持管理の適正化等に向けたドローンの活用（新規）498千円** 【内示資料No.36】 耕地課
人の立入りが困難なため池等において、定期点検や災害時の被害状況の早期把握のためにドローンを購入し活用

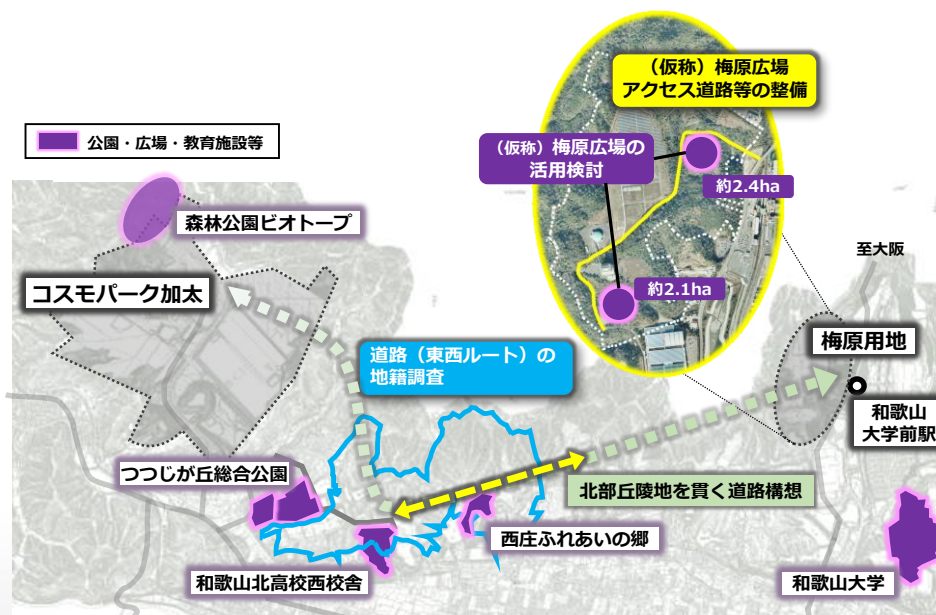
- **災害時における議会機能の維持（新規）539千円** 【内示資料No.37】 議会政策課
災害等が発生しても停滞なく議会運営を進めるとともに、議会の機能維持を図るため、災害用備蓄品を整備

- **防災ラジオの貸与（継続）8,865千円** 地域安全課
防災行政無線の内容を屋内でも迅速に受信できるよう、高齢者世帯等に防災ラジオを無償貸与 **最大800台**

災害に強い高台エリアの取組

● 北部丘陵地の取組（継続）

- ・ 道路（東西ルート）に係る地籍調査 4,009千円 地籍調査課
- ・ （仮称）梅原広場アクセス道路等の整備 211,900千円（道路） 道路建設課
422,700千円（下水路） 河川港湾課
- ・ （仮称）梅原広場の活用検討（再掲） スポーツ振興課



上下水道の強靱化

「水」の安定供給に資するため、水道管路の更新、効率的な漏水調査、施設の老朽化対策・耐震化、リダンダンシーの確保等に取り組みます。汚水対策では、下水道管路特別重点調査等の結果に基づいた改築や合併処理浄化槽への転換を促進するための施策を推進します。

● 水の安定供給

● 紀の川横断部の送水管複線化（継続）912,705千円

（664,182千円 **2月補正**、248,523千円）

紀の川北部地域への水道水の安定供給に向けて紀の川横断部の送水管複線化に取り組む

水道施設課〈R8〉（水道企画課〈R7〉）



水道企画建設課〈R8〉（管路整備課〈R7〉）

● 配水管の整備（継続）3,615,001千円

（191,075千円 **2月補正**、3,423,926千円）

● 衛星画像解析に基づく漏水調査

（継続）52,479千円 **維持管理課**

令和7年度に撮影した衛星画像の解析結果を基に漏水の疑い箇所を現地調査し、漏水箇所の特定に取り組む

水道施設課〈R8〉（水道企画課〈R7〉）

● 加納浄水場の老朽化対策・耐震化（継続）

3,910,766千円（1,015,222千円 **2月補正**、2,895,544千円）

● 汚水対策

【内示資料No.39】 下水道管理課

● 特別重点調査等による下水道管路の改築（新規）

846,750千円（141,750千円 **2月補正**、705,000千円）

下水道管路特別重点調査等の結果に基づき、口径2m以上かつ布設から30年以上経過などの下水道管路の集中的な改築を実施し、老朽化対策を推進

施工前



施工後



● 公共下水道事業計画区域外の合併処理浄化槽設置補助 **浄化衛生課**

公共用水域の水質汚濁を防止するとともに本市の生活排水処理率を向上させるため、合併処理浄化槽への転換に係る撤去等及び配管設備に係る費用を補助し、転換を促進

- ・ くみ取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換（継続）221,634千円

- ・ 特定既存単独処理浄化槽転換補助の開始（新規）3,422千円【内示資料No.38】

※特定既存単独処理浄化槽とは、放置すれば生活環境の保全及び公衆衛生上重大な支障が生ずるおそれのある状態にあると認められる単独処理浄化槽のことです

快適な生活環境の確保

移動がしやすい快適な道路環境を実現するため、暮らしに紐づく生活道路の保全に努めることのほか、狭あい道路の拡幅の促進や緊急車両等の円滑な通行が可能となるよう道路の安全性を確保します。

暮らしに紐づく道路の整備

【内示資料No.40】

● 生活関連道路の保全

道路政策課 / 道路建設課 / 道路管理課

(拡充) 1,580,218千円 (30,000千円 2月補正、1,550,218千円)

災害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な道路環境を確保するための舗装修繕等の実施を大幅に拡充し、併せて交通事故を未然に防止するための交通安全施設の新設、補修等を実施



約2億円拡充
(約17%増)

さらに 約2億円拡充
(約14%増)

R6

R7

R8

身近な道路に係る予算を拡充し
安全で快適な道路環境の実現へ

道路の安全性確保

【内示資料No.41】

● 狭あい道路の拡幅整備 (拡充) 1,600千円

建築指導課

居住環境の向上促進を図るため、狭あい道路（建築基準法第42条第2項に規定する道路）の拡幅後退部分の舗装整備に係る費用を助成

● 緊急避難路の整備 (継続) 59,000千円

道路管理課

災害時における緊急車両等の通行を円滑にするため、側溝や水路を暗渠化して道路幅員を拡幅

● 旧南消防分署望楼の解体 (継続) 484千円

消防総務課

今後、使用予定のない消防局中消防署南分署旧庁舎の望楼を津波、地震等大規模災害に備え、津波避難時における高台への避難経路の安全確保等を目的に解体するため、解体工事設計を行う



買い物難民を防ぐ

産業政策課

● 企業立地促進奨励金制度 (再掲) 132,032千円

買い物困難地域へのスーパーマーケットの立地を促進

人生100年代に向けた健康づくり

世代を超えて交流できる地域でのつながりづくりや、互いに支え合う支援体制を整備するとともに、フレイル・介護予防や疾病対策などの取組を推進し、誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら健康に暮らしていけるまちづくりを目指します。

地域で支え合う支援体制

● 地域コミュニティづくりへの支援強化

(拡充) 4,853千円 [内示資料No.47] 高齢者・地域福祉課

・ 地域ささえあい事業

地域社会に参加する機会を確保し、地域でのつながりづくりや支え合いを推進

世代を超えて交流できる居場所づくり

年齢の垣根をなくし、地域の誰もが交流できる仕組みへ

・ つながる活動助成金事業

地域課題の解決に向けた取組や、地域資源を活用した仕組みづくりを支援

人と人、人と場所を結ぶ取組の活性化



● 地域包括ケアの推進 地域包括支援課

・ 地域包括支援センターの運営 (継続) 361,760千円

高齢者やその家族の相談窓口として、市内15か所に地域包括支援センターを設置し、専門職(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)が、介護・福祉・健康・医療の様々な面から総合的に支援

・ 在宅医療・介護連携の推進 (継続) 12,277千円

・ 認知症初期集中支援チームの配置 (継続) 943千円

フレイル・介護予防と疾病対策

地域包括支援課

● 自主グループの立ち上げ・活動継続の支援 (継続) 7,633千円

・ WAKAYAMAつれもて健康体操

・ わかやまシニアエクササイズ

加齢に伴う心身機能の低下等によるフレイル(虚弱)予防のため、自主的な体操を実施するグループの立ち上げや活動継続を支援し、住民主体の通いの場の充実に努める



WAKAYAMAつれもて健康体操



わかやまシニアエクササイズ

● 高血圧ゼロのまちの推進 (新規) 1,369千円 地域保健課

[内示資料No.44]

生活習慣の改善による高血圧の予防及び重症化防止に向けて、市有施設への血圧計の設置や高血圧予防イベントの開催等を実施

● 定期予防接種の推進 保健対策課

・ RSウイルスワクチン接種の開始 (新規)

[内示資料No.45]
56,547千円

・ 高用量インフルエンザワクチン接種の開始 (新規) 76,335千円

[内示資料No.46]

● 特定健康診査の実施 (継続) 258,415千円 国保年金課

● がん検診の実施 (継続) 225,337千円 地域保健課

高齢者・障害者の生活安心サポート

高齢者や障害者の外出支援により、社会参加を後押しするとともに、多様な生活支援サービスの充実させることで、誰もが安心して自分らしく暮らすことのできる社会を目指します。

生涯安心して暮らせる社会づくり

● 高齢者に対する外出支援

高齢者・地域福祉課

・ 元気70パス（継続）105,960千円

70歳以上の高齢者に、市内路線バスを1回100円で乗車できるバスカード、もしくは、市営5か所で割引になる駐車場利用券のいずれかと公衆浴場利用回数券を交付



・ 和歌山電鐵70おでかけ回数券（継続）3,817千円

70歳以上の高齢者に利用区間に関係なく利用できる10枚綴りの回数券を1,000円で販売



多様な移動ニーズに応じた外出機会の創出

● ひとり暮らし高齢者の見守りシステム

（継続）22,480千円

高齢者・地域福祉課

ペンダント型送信器や人感センサーにより、非常時に警備会社の職員が駆け付けられる体制を構築

高齢者・地域福祉課

● 高齢者補聴器購入費助成（継続）1,600千円

加齢による聴力低下により日常生活に支障がある在宅の高齢者に対し、補聴器購入に要した費用を助成し、高齢者の閉じこもり防止と外出支援を図る

● 家庭ごみのふれあい収集（継続）540千円

収集センター

障害者を支える環境づくり

● 障害児者への日常生活用具の給付支援強化

（拡充）131,175千円

障害者支援課 / 保健対策課

重度障害者（児）及び難病患者の日常生活上の困難を改善するために、ストーマ装具等の複数の日常生活用具について、給付基準額の引き上げを実施

視覚障害者

視覚障害者用読書器 （※据置型のみ）	198,000円 ▶ 248,000円
視覚障害者用時計 （※腕時計のみ）	13,300円 ▶ 13,900円

内部障害者

電気式たん吸引器 （※充電式のみ）	56,400円 ▶ 62,000円
ストーマ装具（尿路系）	11,600円 ▶ 12,430円
ストーマ装具（消化器系）	8,850円 ▶ 9,460円

給付基準額を引き上げ、
自立した生活と安心した暮らしを支える

障害者支援課 / 保健対策課

● 障害児者への外出支援（継続）32,364千円

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方に、バスカードまたは公衆浴場回数券、福祉タクシー利用券（対象者のみ）を配布することで外出を支援

● 障害者への就労支援

障害者支援課

- ・ 重度障害者等への就労支援（継続） 1,883千円
- ・ 就労移行支援利用者交通費助成（継続） 600千円

複合的な課題に対応する重層的支援

支援機関、地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することを基本に、既存の相談支援や地域づくり支援の取組を活かし、子供、障害者、高齢者、生活困窮者といったそれぞれの支援体制では対応しきれないような複雑化した支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制を構築し、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施していきます。

●相談支援

介護	地域包括支援センター運営事業（継続）	361,760千円
障害	基幹相談支援センターの推進（継続）	67,448千円
	障害者相談支援事業（継続）	13,200千円
子ども	子育てプランナーによる支援（再掲）	8,895千円
困窮	生活困窮者自立相談支援事業（継続）	20,783千円
	・多機関協働事業（継続）	11,664千円
	・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（継続）	11,832千円

●参加支援（継続）11,168千円

既存の社会参加に向けた事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人のニーズ・希望と地域の資源との間の調整を行うことで、多様な社会参加の実現を目的とする

●地域づくりに向けた支援

介護	地域介護予防活動支援事業（継続）	2,356千円
	生活支援体制整備事業（継続）	45,611千円
障害	地域活動支援センター事業（継続）	26,136千円
子ども	地域子育て支援拠点事業（再掲）	80,438千円
困窮	生活困窮者支援等のための地域づくり事業（継続）	10,221千円

●地域コミュニティづくりへの支援強化（再掲）4,853千円【内示資料No.47】

・地域ささえあい事業 **地域における食事会・配食の補助に係る年齢要件を撤廃**

・つながる活動助成金

地域が主体となって他の組織や団体と協働で行う先進的な地域づくりの取組に対し助成



スマートシティ・脱炭素社会の推進

あらゆるシーンにおける諸課題の解決や、まちの魅力向上に資する新たな価値創造を実現し、市民が心豊かな暮らしを送る快適性や利便性の高いスマートシティの形成を目指します。また、道路照明等のLED化に伴う調査、取替え及び維持管理を一括して委託するESCO事業の導入により、コスト削減と脱炭素化を併せて推進します。

スマートシティの推進

●窓口におけるリアルタイム字幕表示システムの導入（新規）132千円【内示資料No.53】

行政経営課

窓口での会話をリアルタイムに字幕表示するシステムを導入することで、聴覚に障害のある方や高齢者の方などのコミュニケーションの円滑化を図り、気軽に、安心して来庁できる窓口を目指す



利便性の高い窓口へ

●スマートシティ推進プラットフォームを通じた民間との連携（継続）1,546千円

デジタル推進課

多様なステークホルダーと積極的に連携し、先端技術等導入の検討を進めるとともに、和歌山市スマートシティ実証実験サポート補助金による実証実験を支援し、成果物を機械判読可能なデータとして原則オープンにすることで、市民生活の利便性向上や安心安全なまちづくり等を目指す



R7は「日常でのドローン活用」に挑戦

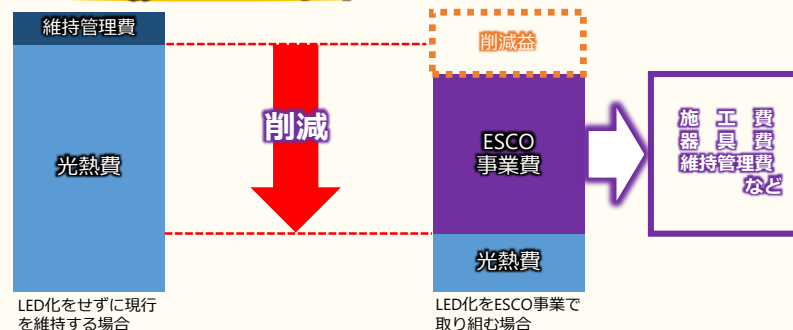
脱炭素社会の推進

●ESCO事業による道路照明、公園照明等のLED化（新規）549,836千円

【内示資料No.54】

道路照明等のLED化に伴う調査、取替え及び維持管理を一括して委託し、ランニングコストをスリム化しつつ脱炭素化を推進
ESCO（Energy Service Company）事業

道路管理課
河川港湾課
公園緑地課
まちなみ景観課



●脱炭素先行地域選定に向けた取組（継続）

環境政策課

全国の空洞化都市に先駆ける「和歌山市モデル」～空き家改修×脱炭素で創るまちなか再生戦略～と銘打った脱炭素先行地域計画を実現すべく、脱炭素先行地域への選定に向けて取り組む



令和8年度当初予算の概要

○ 一般会計予算

165,768,945 千円

4年連続収支均衡

増減率

増減額

(4.1%)

(6,457,061千円)

3.4%

5,373,661千円

○ 特別会計予算

96,032,177 千円

増減率

増減額

△0.6%

△553,503千円

○ 公営企業会計予算

48,345,356 千円

増減率

増減額

(12.5%)

(5,229,285千円)

14.4%

6,100,785千円

○ 予算合計

310,146,478 千円

増減率

増減額

(3.7%)

(11,132,843千円)

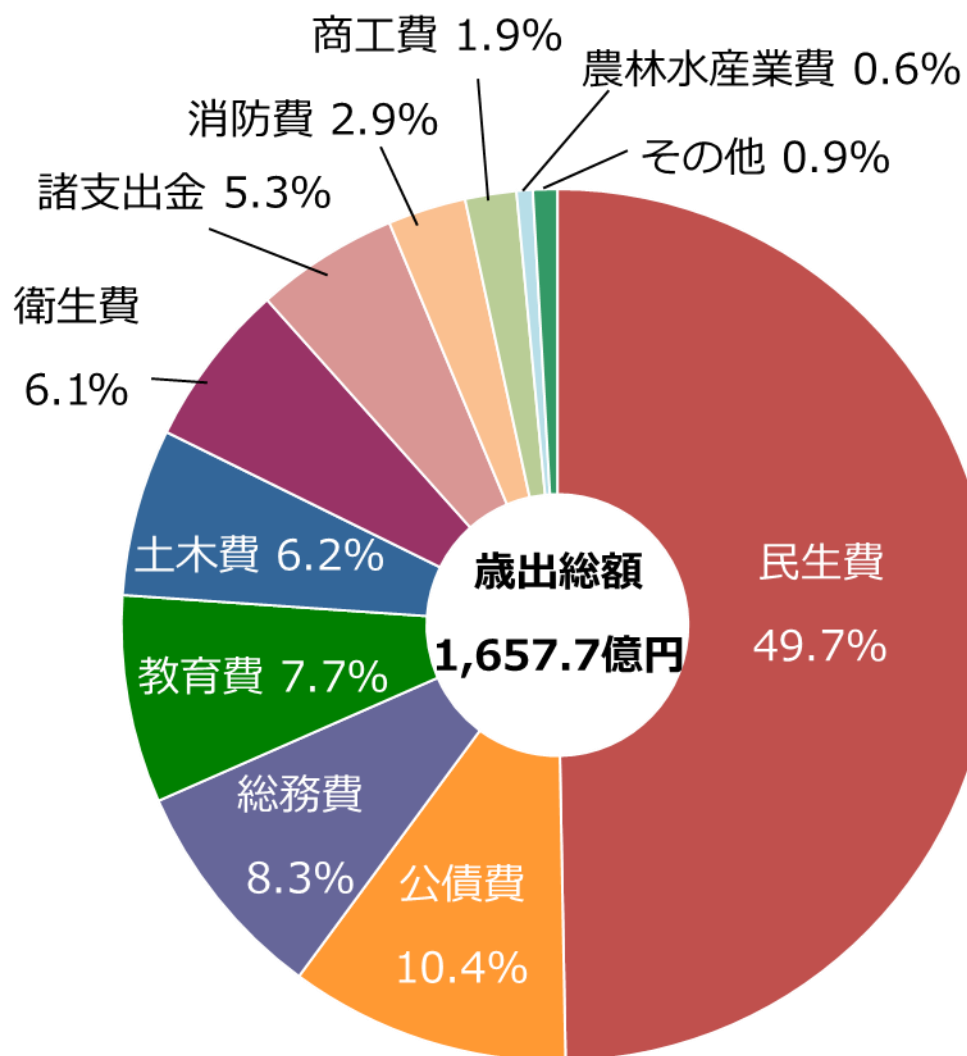
3.6%

10,920,943千円

()内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

一般会計歳出の状況（目的別）①

（１）款別予算額の構成比



構成比の前年度からの増減

増

◆教育費 +1.4ポイント
(6.3%→7.7%)

◆土木費 +0.7ポイント
(5.5%→6.2%)

減

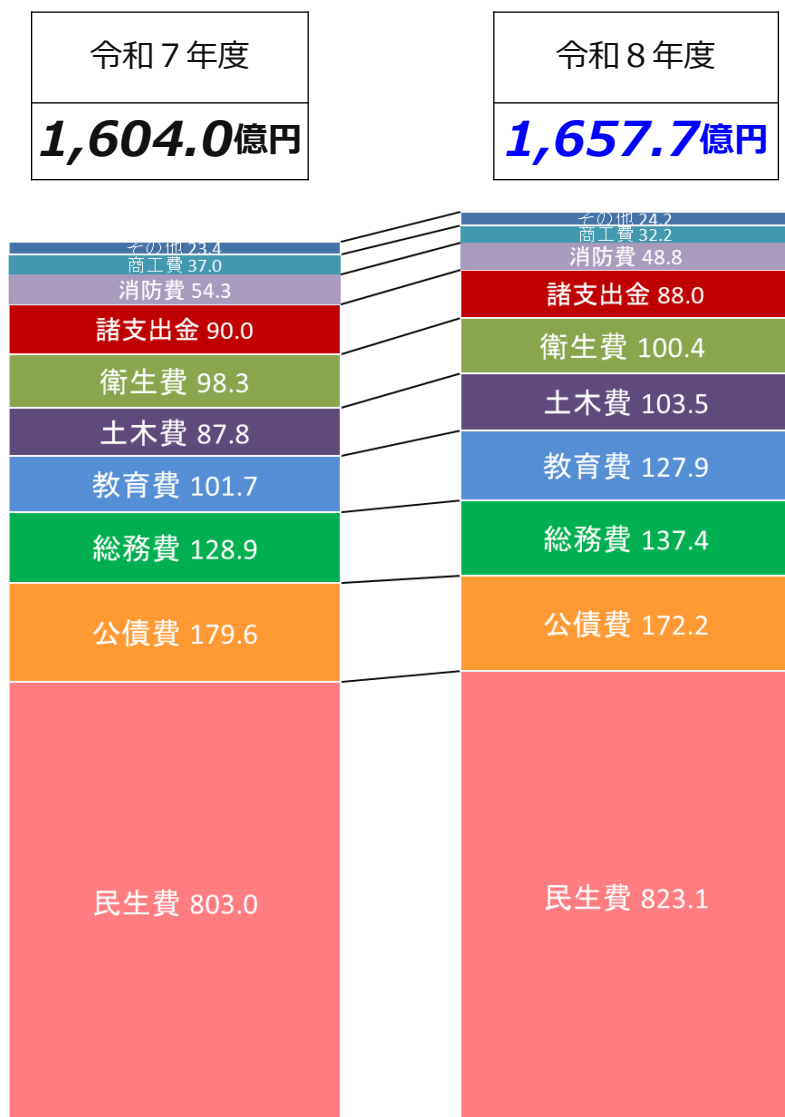
◆公債費 △0.8ポイント
(11.2%→10.4%)

◆消防費 △0.5ポイント
(3.4%→2.9%)

一般会計歳出の状況（目的別）②

款別予算額の年度間増減

前年度比+53.7億円（+3.4%）



増

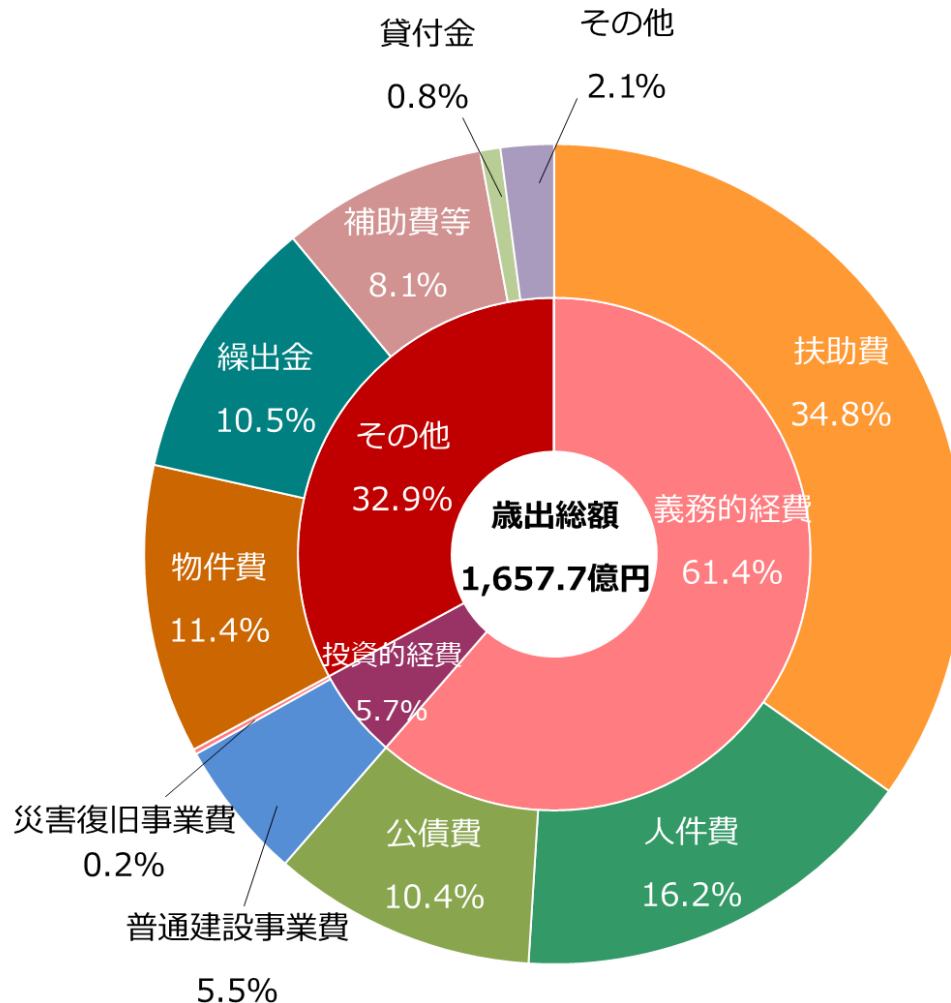
- ◆教育費 +26.2億円（+25.8%）
 - ・ GIGA端末の更新 +14.3億円
 - ・ 中学校給食費の無償化 +5.2億円
 - ・ 給食センターの管理運営 +3.5億円
- ◆民生費 +20.1億円（+2.5%）
 - ・ 介護施設開設準備及び整備費の助成 +9.0億円
 - ・ 障害福祉サービスにかかる給付 +7.3億円
 - ・ 障害児福祉施設にかかる給付 +5.5億円
- ◆土木費 +15.7億円（+17.9%）
 - ・ 岡崎団地の建替 +11.6億円
 - ・ 道路照明・公園照明等のLED化 +4.8億円
 - ・ 羽鳥橋排水ポンプ場の能力強化 +1.8億円
 - ・ 河西橋の架け替え △3.3億円

減

- ◆消防費 △5.5億円（△10.1%）
 - ・ 宮前出張所建設に伴う工事の完了 △3.8億円
 - ・ 消防救急デジタル無線整備の完了 △3.0億円
 - ・ 化学消防ポンプ車等の更新 △1.1億円
 - ・ 指令システムの運営 +0.8億円
- ◆商工費 △4.8億円（△13.0%）
 - ・ プレミアム付商品券事業 △5.7億円
 - ・ 扇の芝の整備 +1.1億円

一般会計歳出の状況（性質別）①

（１）性質別予算額の構成比



（ % ） は前年度の割合

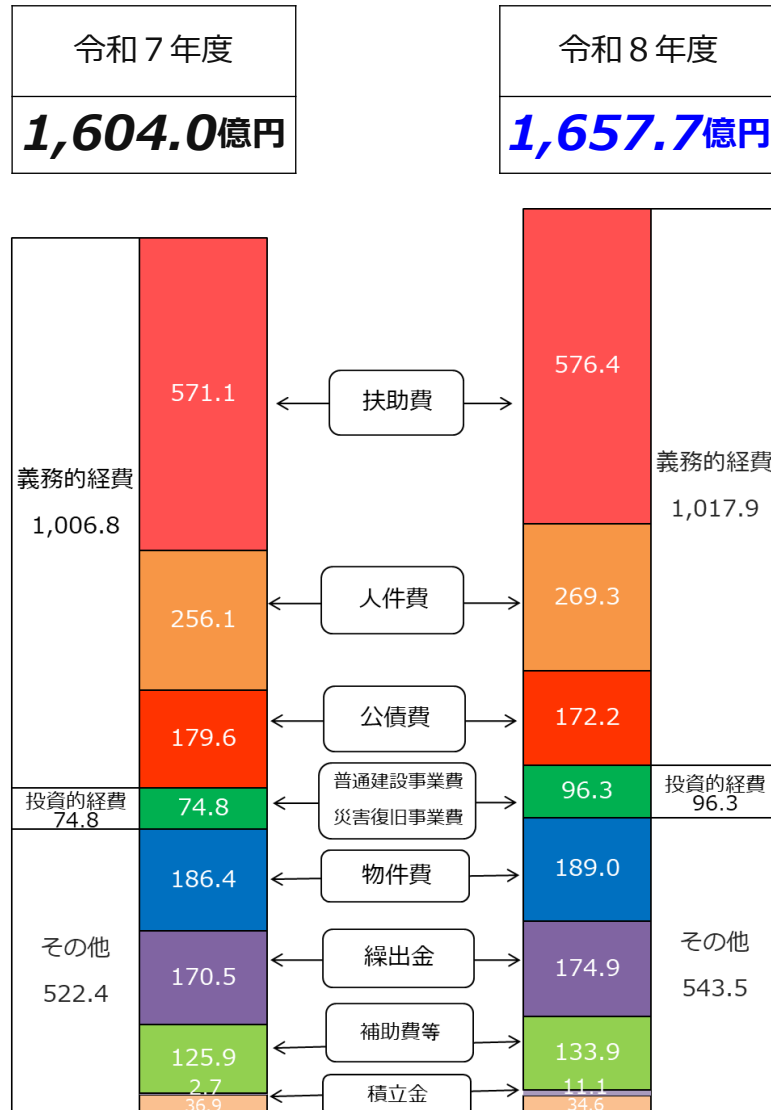
- 義務的経費の割合 61.4% (62.8%)
- 投資的経費の割合 5.7% (4.7%)
- その他の割合 32.9% (32.5%)

- ◎ 割合が増加
普通建設事業費・補助費など
- ◎ 割合が減少
扶助費・公債費など

一般会計歳出の状況（性質別）②

性質別予算額の年度間増減

前年度比+53.7億円（+3.4%）



◆義務的経費 +11.1億円（+1.1%）

- ・人件費 +13.2億円（+5.2%） 退職手当の増 +5.7億円
- ・扶助費 +5.3億円（+0.9%）
- ・公債費 △7.4億円（△4.1%）

◆投資的経費 +21.5億円（+28.7%）

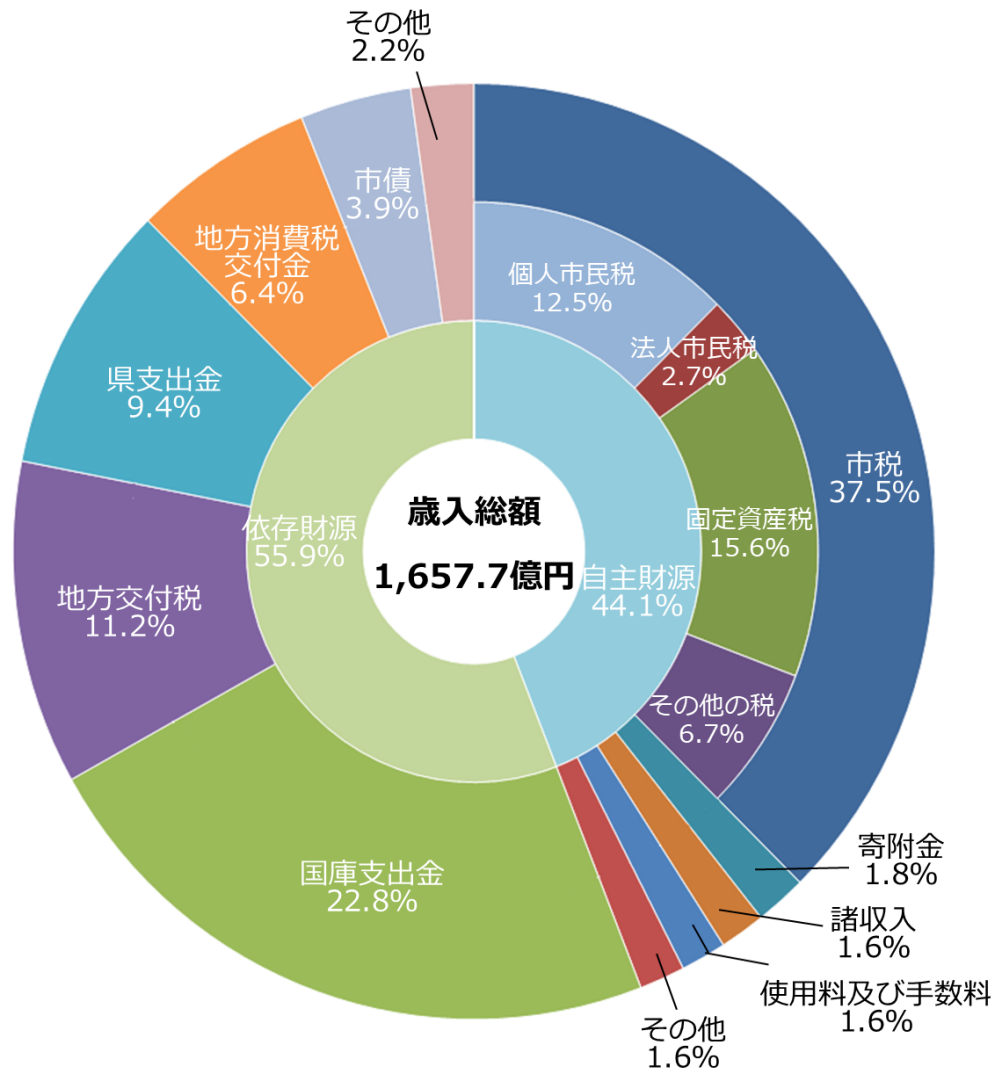
- ・普通建設事業費 +20.5億円（+28.7%）
 GIGA端末の更新+14.3億円 岡崎団地の建替+12.0億円
 道路照明・公園照明等のLED化+4.8億円
 旧芦原幼稚園跡地活用+1.8億円
 羽鳥橋排水ポンプ場の能力強化+1.8億円 河西橋の架け替え△3.3億円
 消防救急デジタル無線整備の完了△3.0億円
 宮前出張所整備の完了△3.8億円 紀ノ川駅のバリアフリー化△0.8億円
- ・災害復旧事業費 +1.0億円（+30.4%）

◆その他 +21.1億円（+4.0%）

- ・積立金 +8.4億円（+311.1%） 減債基金積立金 +7.5億円
- ・補助費等 +8.0億円（+6.3%）
 介護施設開設準備経費の助成 +7.9億円
 和歌山電鐵貴志川線の存続支援 +1.2億円
 省エネ家電買い替え促進補助金の終了 △1.0億円
- ・物件費 +2.6億円（+1.4%）
 中学校給食費の無償化 +5.0億円
 中学校給食センターの管理運営 +3.5億円
 次期ごみ施設の整備 +2.1億円 システム標準化使用料 +1.5億円
 ソフトウェアの更新 △3.2億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



(%) は前年度の割合

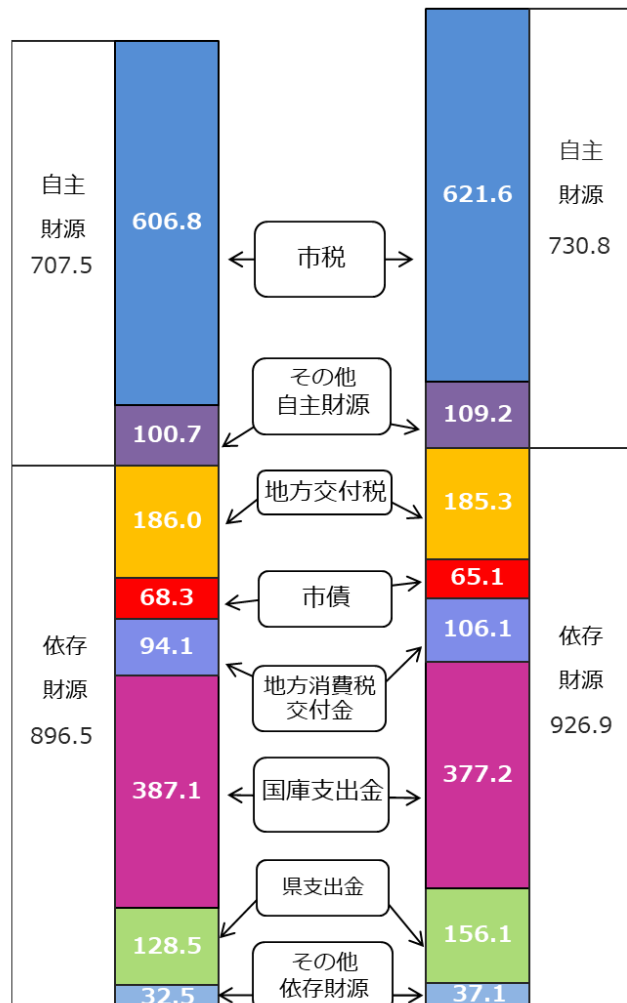
○ **自主財源 730.8億円**
構成比 44.1% (44.1%)

○ **依存財源 926.9億円**
構成比 55.9% (55.9%)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減

令和7年度	令和8年度
1,604.0億円	1,657.7億円



自主財源 +23.3億円 (+3.3%)

- 市税 +14.8億円 (+2.4%)
 - ・個人市民税 +8.7億円
 - ・法人市民税 +3.1億円
 - ・固定資産税 +1.8億円
- その他 +8.5億円 (+8.4%)
 - ・退職手当基金繰入金 +3.5億円

依存財源 +30.4億円 (+3.4%)

- 国庫支出金 △9.9億円 (△2.6%)
 - ・定額減税の補足給付金 △15.3億円
 - ・プレミアム付商品券 △5.6億円
 - ・岡崎団地の建替 +4.0億円
 - ・障害福祉サービス等に係る給付費等負担金 +6.4億円
- 県支出金 +27.6億円 (+21.5%)
 - ・GIGA端末の更新 +9.6億円
 - ・介護施設開設準備及び整備費の助成 +9.1億円
 - ・小中学校の給食費無償化 +5.7億円
 - ・障害福祉サービス等に係る給付費等負担金 +3.2億円
- 地方消費税交付金 +12.0億円 (+12.7%)
- 市債 △3.2億円 (△4.7%)
 - ・借換債 △10.8億円
 - ・宮前出張所建設 △3.8億円
 - ・岡崎団地の建替 +7.7億円
 - ・GIGA端末の更新 +4.8億円
- その他 +4.6億円 (+14.2%)
 - ・株式等譲渡所得割交付金 +2.4億円
 - ・配当割交付金 +1.8億円

